

2026年 4 月10日

各 位

会 社 名 株式会社明光ネットワークジャパン
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 岡 本 光 太 郎
(コード番号 4668 東証プライム)
問合せ先 取締役経営企画部長 坂元 考行
(TEL 03-5860-2111 代 表)

第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 14 日に発表しました 2026 年 8 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と本日発表の 2026 年 8 月期第 2 四半期連結業績の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,650	百万円 1,140	百万円 1,170	百万円 630	円 銭 24.94
実績値 (B)	12,901	1,459	1,552	966	38.19
増減額 (B - A)	+251	+319	+382	+336	
増減率 (%)	+2.0%	+28.0%	+32.7%	+53.3%	
(参考) 前期第 2 四半期連結実績 (2025 年 8 月期第 2 四半期)	12,232	1,473	1,540	1,009	40.03

(2) 差異の理由

当第 2 四半期(中間期)連結累計期間につきましては、主力である明光義塾直営事業において、生徒数および顧客単価の増加により好調に推移したことに加え、日本語学校事業における生徒数の順調な増加、キッズ事業や自立学習 RED 事業等の売上伸長もあり、連結売上高は前回発表予想を上回りました。

利益面につきましては、これらの増収効果に加えて、全社的な経費コントロールを実行した結果、費用が想定を下回って推移し、連結営業利益が前回発表予想を上回りました。

さらに、営業外収益において持分法適用会社の業績が好調に推移し、持分法による投資利益が上振れしたこと等から、経常利益ならびに親会社株主に帰属する中間純利益におきましても、前回発表予想を大きく上回る結果となりました。

(3) 通期業績予想の修正について

2026 年 8 月期通期の連結業績予想につきましては、システム投資、環境投資、人的資本投資を推進するため、現時点では前回発表予想(2025 年 10 月 14 日公表)を据え置くことといたしました。

なお、今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上